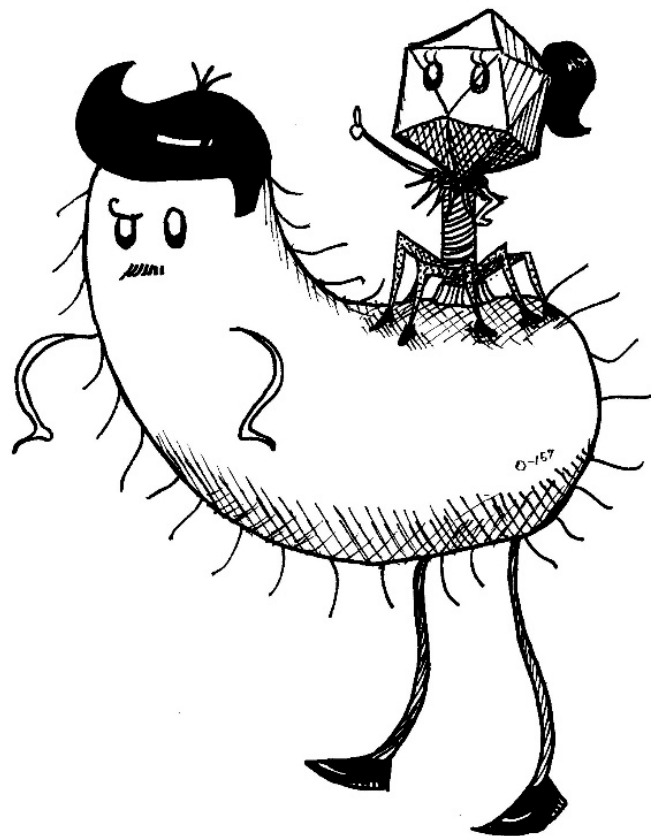


**第7回ファージ研究会・  
2018年日本細菌学会  
関東支部インターラボセミナー  
合同大会**



**会期:2018年8月31日(金)、9月1日(土)**

**会場:麻布大学**



# 世話人挨拶

広い裾野を持つ微生物学分野の学会は、学問の進歩に伴って細分化が進み、分野間や学会間の交流が少ないことが現状であります。近年の学術研究は分野の境界がなく、異分野融合による新しい分野創生や若手育成という面でも学会連合の必要性が高まっています。そこで、この度、第7回ファージ研究会と2018年日本細菌学会関東支部インターラボセミナーとの合同大会として企画致しました。演題募集から時間があまりない状況にも関わらず、多数の方々に演題を申し込んで頂きました。発表のテーマに対して、なるべく均等にご発表頂けるように調整致しました。ご対応頂きました皆様には、この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。

本合同大会開催にあたり、ご指導を賜りましたファージ研究会の監事であります武田 茂樹 教授、日本細菌学会関東支部長 阿部 章夫 教授、日本細菌学会関東支部評議員の先生方をはじめ多くの会員の皆様に深く感謝申し上げます。また、日本細菌学会関東支部、麻布大学、極東製薬工業株式会社、株式会社コクサン、北里メディカルサービス株式会社などの多方面の方々より多大なるご協力を頂きました。本紙面をお借りしまして、深甚なる感謝の意を表します。多数の若手研究者が積極的に本合同大会にご出席され、学術発表に質疑応答されることを強く望んでおります。本合同大会が盛況になるように大いに期待しております。

第7回ファージ研究会 世話人  
内山 淳平  
(麻布大学獣医学部微生物学第一研究室)

2018年日本細菌学会関東支部  
インターラボセミナー 世話人  
阪口 義彦  
(北里大学医学部微生物学単位)

内山 淳平  
(麻布大学獣医学部微生物学第一研究室)

# 第7回ファージ研究会・2018年日本細菌学会 関東支部インターラボセミナー合同大会

会期:8月31日(金)~9月1日(土)

会場:麻布大学8号館8402室

ポスター会場:麻布大学8号館4階

談話室:麻布大学8号館8405室

服装:カジュアルスタイル(ノーネクタイ)をお願いします。

※ ファージ研究会総会を8月31日(金)10:30-11:30amで行います。  
総会の会場は、研究会の会場と同じ8402室となります。

## 会場案内

### 麻布大学

(〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺1丁目17-71)

### JR 横浜線 矢部駅北口から徒歩5分



# キャンパスマップ



**研究会会場:**上の図の7番の建物(赤い四角で囲っている建物;ビルの上に「麻布大学」と書いてある建物)が8号館です。

**懇親会会場:**上の図の23番の建物(黄色い四角で囲っている建物;カフェテリアさくら)が懇親会会場です。

**喫煙所:**上の図の★にあります。

**会場に wifi はありません。ご注意ください。**

**会費:無料**(各自 受付で抄録集を1部と名札を受け取ってください。)

**情報交換会参加費(受付で現金支払いをお願いします。)**

有職者:3,000円

有職者以外(学部生・大学院生など):無料

## 発表方法

### 1. 一般演題(ポスター発表)の演者の方へ

- ① ポスターの位置をあらかじめ掲示しておきます。ポスターは掲示スペースに掲示をお願いします。
- ② ポスターは B1(横 70 cm × 縦 100 cm) で作製してください。
- ③ ポスター発表時間(17:00~18:30)には、なるべくポスターの前にいるようお願いします。

### 2. 一般演題(口頭発表)・ワークショップの演者の方へ

- ① 全て PC を用いた発表となります。ご自身によりキーボードとマウスで操作して頂きます。ポインターはこちらで準備します。
- ② スライドの枚数に制限はありません。
- ③ 発表は時間厳守でお願いします。
- ④ 発表 7 分、質疑応答 3 分(合計 10 分)でお願いします。

### 3. シンポジウムの演者の方へ

- ① 全て PC を用いた発表となります。ご自身によりキーボードとマウスで操作して頂きます。ポインターはこちらで準備します。
- ② スライドの枚数に制限はありません。
- ③ 発表は時間厳守でお願いします。
- ④ 指定された発表時間(10 分あるいは 20 分)でお願いします。最後に総合討論 20 分があります。

※ 口頭発表される方は、各自で PC はご用意頂ければ幸いです。休憩時間に PC の接続チェックをお願いします。近くのスタッフへお声をおかけください。

### 4. 座長の先生方へ

プログラムに記載された口頭発表の進行をお願いします。時間経過の確認を行い、時間厳守でお願いします。

# 謝辞

本会は、日本細菌学会関東支部、極東製薬工業株式会社、株式会社コクサン、北里メディカルサービス株式会社、麻布大学の支援を受けて運営しています。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



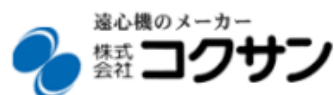
麻布大学



極東製薬工業株式会社



北里メディカルサービス株式会社  
Kitasato Medical Service Co.,Ltd.



# 1 日目プログラム[8月31日(金)]

		時間					
受付	11:30	～	12:30				
開会	12:30	～	12:40	麻布大学研究本部長挨拶 (田原口 智士) 世話人の挨拶 (内山 淳平・阪口 義彦)			
セッション1	時間	演題番号	発表者	所属	演題		
応用 (コンピナー: 村上 裕信・竹田 志郎)	12:40	～	12:50	001	内田 健太郎	北里大学医学部整形外科学	細菌分子によるコラーゲンアンカー機構を応用した運動器再生医療
	12:50	～	13:00	002	菅野 和紀・鶴川 幸音	麻布大学基礎教育化学研究室	微生物由来の新規神経保護物質の探索
ファージ療法 (コンピナー: 氣駕 恒太郎・安藤 弘樹)	13:00	～	13:10	003	高橋 宏充	酪農学園大学獣医学化学教室	バクテリオファージ由来溶菌酵素「エンドライシン」の高性能化の検討
	13:10	～	13:20	004	佐藤 光司	東京工業大学生命理工学院	抗生物質とファージによる大腸菌O157:H7の制御
	13:20	～	13:30	005	岸本 達真	高知大学医学部眼科	Therapeutic effects of bacteriophage $\phi$ EF24C-p2 on <i>Enterococcus faecalis</i> endophthalmitis in mice
	13:30	～	13:40	006	今西 市朗	東京農工大学獣内科学研究室	組換えendolysinのブドウ球菌に対する溶作用ならび膿瘍モデルマウスにおける発症抑制効果
休憩	13:40	～	14:00				
セッション2	時間	演題番号	発表者	所属	演題		
疫学 (コンピナー: 松本 靖彦・平川 秀忠)	14:00	～	14:10	007	鳥居 恭司	東京農業大学農学部動物科学科	一地域から分離された <i>Salmonella</i> Agona の分子疫学的解析及び病原性評価
	14:10	～	14:20	008	濱岡 直裕	(地独)北海道立総合研究機構食品加工研究センター	北海道内の乳製品製造場における乳酸菌ファージについて
進化・方法 (コンピナー: 紙透 伸治・柏木 明子)	14:20	～	14:30	009	松澤 佑一	高知大学医学部微生物学講座	バクテリオファージKHP30に作用する <i>Helicobacter pylori</i> 保有の制限-修飾系の解析
	14:30	～	14:40	010	柏木 明子	弘前大学農学生命科学部	RNAバクテリオファージQ $\beta$ のA2相補系でのゲノム変化
	14:40	～	14:50	011	武 晃	北里大学北里生命科学研究所	細菌細胞壁ペプチドグリカン構造解析法の確立
	14:50	～	15:00	012	木口 悠也	早稲田大学大学院先進理工学研究科	ヒト腸内Virome 解析手法の開発
休憩	15:00	～	15:20				
セッション3	時間	演題番号	発表者	所属	演題		
シンポジウム「ファージ療法の臨床研究と未来」(コンピナー: 松崎 茂展・宮永 一彦)	15:20	～	15:30	S1	宮永 一彦	東京工業大学生命理工学院	ファージ療法のこれまでとこれから
	15:30	～	15:50	S2	福田 憲	高知大学医学部眼科	医薬品としてのファージ療法の臨床の現状
	15:50	～	16:10	S3	岩野 英知	酪農学園大学獣医学類獣医学化学ユニット	ファージ療法の獣医臨床への応用について
	16:10	～	16:30	S4	安藤 弘樹	岐阜大学大学院医学系研究科病原体制御学分野	バクテリオファージをデザインする、細菌叢をデザインする
	16:30	～	16:50	総合討論			
写真撮影	16:50	～	17:00				
ポスター発表	17:00	～	18:30	P01～P20	ポスターセッション		
情報交換会	18:40	～	20:40	乾杯の挨拶: 武田 茂樹			



## 2日目プログラム[9月1日(土)]

セッション4	時間		演題番号	発表者	所属	演題
薬剤耐性 (岩野英知、佐藤 勉)	9:20	~ 9:30	O13	平川 秀忠	群馬大学大学院医学系研究科細菌学講座	嫌気環境における緑膿菌に対するホスホマイシン活性増大機構の解析
	9:30	~ 9:40	O14	川田 逸人	北里大学大学院環境微生物学研究室	<i>Staphylococcus aureus</i> N315株を用いたDaptomycin 低感受性因子MprFの機能解析及び低感受性機序の解析
分子生物・構造 (コンビナー: 大塚 裕一・稲垣 稜)	9:40	~ 9:50	O15	藤木 純平	酪農学園大学獣医学類獣医化学ユニット	黄色ブドウ球菌ファージ由来LysK 様エンドライシン (LysΦSA012) の機能解析
	9:50	~ 10:00	O16	篠田 知奈美	三重大学生物資源学研究科生理活性創薬化学研究室	ファージX174の宿主糖鎖認識 - 有機化学的分子レベルでの解明を目指して -
	10:00	~ 10:10	O17	佐藤 勉	法政大学生命科学部	溶原性ファージDNA 組換えユニットの互換性
	10:10	~ 10:20	O18	砂原 弘文	京都工芸繊維大学	Genome sequence of a <i>T4virus</i> KIT03 infectious to both <i>E. coli</i> O157:H7 and <i>Salmonella</i>
	10:20	~ 10:30	O19	宮崎 直幸	大阪大学蛋白質研究所	クライオ電子顕微鏡による 黄色ブドウ球菌ファージ S13'の近原子分解能構造析
	10:30	~ 10:40	O20	金丸 周司	東京工業大学生命理工学院	PP01ファージのgp38レセプター結合ドメインの構造
休憩	10:40	~ 11:00				
セッション5	時間		演題番号	発表者	所属	演題
細菌叢 (コンビナー: 内山 淳平・阪口 義彦)	11:00	~ 11:10	O21	古川 隼士	北里大学医療衛生学部	沿岸レクリエーション用水域におけるふん便汚染実態とその汚染源の追跡
	11:10	~ 11:20	O22	佐藤 雅	北里大学医学部免疫学	NKT 細胞による腸内菌叢の制御
	11:20	~ 11:30	O23	小檜山 篤志	北里大学海洋生命科学部	Seasonal variations of bacterial flora in the Ofunato Bay, Japan, using shotgun metagenomic analysis
	11:30	~ 11:40	O24	水澤 奈々美	北里大学海洋生命科学部	多摩川中流域河川水のショットガンメタゲノミクスによる環境DNA 解析および16S rRNA メタゲノミクスによる細菌叢の季節変動解析
	11:40	~ 11:50	O25	大津留 知樹	北里大学大学院医療系研究科	<i>Zoogloeaceae</i> 科細菌のポリヒドロキシアルカン酸 (PHA) 蓄積能に及ぼす炭素源の影響
休憩	11:50	~ 12:00				
セッション6	時間		演題番号	発表者	所属	演題
ワークショップ「動物共生科学の創生による、ヒト健康社会の実現」 (コンビナー: 阪口 雅弘)	12:00	~ 12:15	W01	阪口 雅弘	麻布大学獣医学部微生物第一研究室	動物共生科学の創生によるヒト健康社会の実現: ヒトと動物のアレルギー疾患
	12:15	~ 12:25	W02	村上 裕信	麻布大学獣医学部衛生学第二研究室	牛白血病ウイルスの複製に関与する化合物の探索
	12:25	~ 12:35	W03	竹田 志郎	麻布大学獣医学部食品科学研究室	細菌叢クロストークに着目したイヌとの共生によるヒト健康促進機序の解明
	12:35	~ 12:45	W04	山下 匡	麻布大学獣医学部生化学研究室	イヌ腫瘍リポソームの構築と遺伝子シグネチャー解析による転移・浸潤ドライバー遺伝子の探索
閉会の辞	12:45	~ 12:50	阪口 雅弘			

## ポスター発表(8月31日(金)17時00分～18時30分)

※ 発表者はなるべくポスターの前に立っていただきます。

演題番号	お名前	所属	演題名
P01	VO THI TU ANH	京都工芸繊維大学	Isolation of lytic bacteriophage against <i>Vibrio parahaemolyticus</i>
P02	PHAM KHANH NGUYEN HUAN	京都工芸繊維大学	In vitro control of <i>E. coli</i> and <i>Salmonella</i> by bacteriophage
P03	大石 憲	東京工業大学大学院生命理工学院 生命工学系生命工学コース	非病原性大腸菌 O157:H7感染性ファージの特性解析
P04	新井 寛規	東京工業大学生命理工学院	<i>Staphylococcus</i> ファージの感染特異性
P05	Aa Haeruman Azam	Tokyo Institute of Technology	Host recognition mechanism of two closely related staphylococcal twort-like phages $\phi$ SA012 and $\phi$ SA039
P06	Chanthol PENG	Department of Life Science and Technology, Tokyo Institute of Technology	Controlling of <i>Staphylococcus aureus</i> by combining bacteriophage and antibiotic treatment
P07	Ong Soo Peng	Tokyo Institute of Technology	Control of biofilm-forming <i>Pseudomonas aeruginosa</i> PAO1 by phage cocktail and antibiotics
P08	小笠原 太軌	法政大学理工学研究科	枯草菌溶原性ファージ $\phi$ 105 の機能解析
P09	高橋 由紀子	法政大学生命科学部	枯草菌skin element のExcision 機構
P10	吉川 実季	法政大学生命科学部	枯草菌ファージ $\phi$ 3T の組換えユニットと遺伝子再編成
P11	井口 義夫	(元)帝京大学理工学部	Q $\beta$ ファージcDNA の機能モジュール化
P12	武田 茂樹	群馬大学理工学府	M $\mu$ ファージ構造サブユニットの立体構造解析
P13	小方 雅也	麻布大学微生物学第一研究室	B群連鎖球菌検査精度向上を目的したバクテリオファージの利用
P14	伊藤 雅人	麻布大学微生物学第一研究室	イヌにおけるワクチン接種後副反応に関するデータ分析
P15	那須川 忠弥	麻布大学大学院	一般遠心機を利用した塩化セシウム密度勾配遠心法によるウイルス精製の検討
P16	内山 淳平	麻布大学獣医学部	Recovery of mycobacteriophages from archival stocks stored for approximately 50 years in Japan
P17	阪口 義彦	北里大学医学部微生物学	クロストリディオイデス(クロストリジウム)・ディフィシル感染症に対する糞便移植におけるヒト腸内微生物叢解析
P18	村上 裕信	麻布大学獣医学部衛生学第二研究室	牛白血病ウイルスの遺伝的多型がもたらすウイルス性状への影響